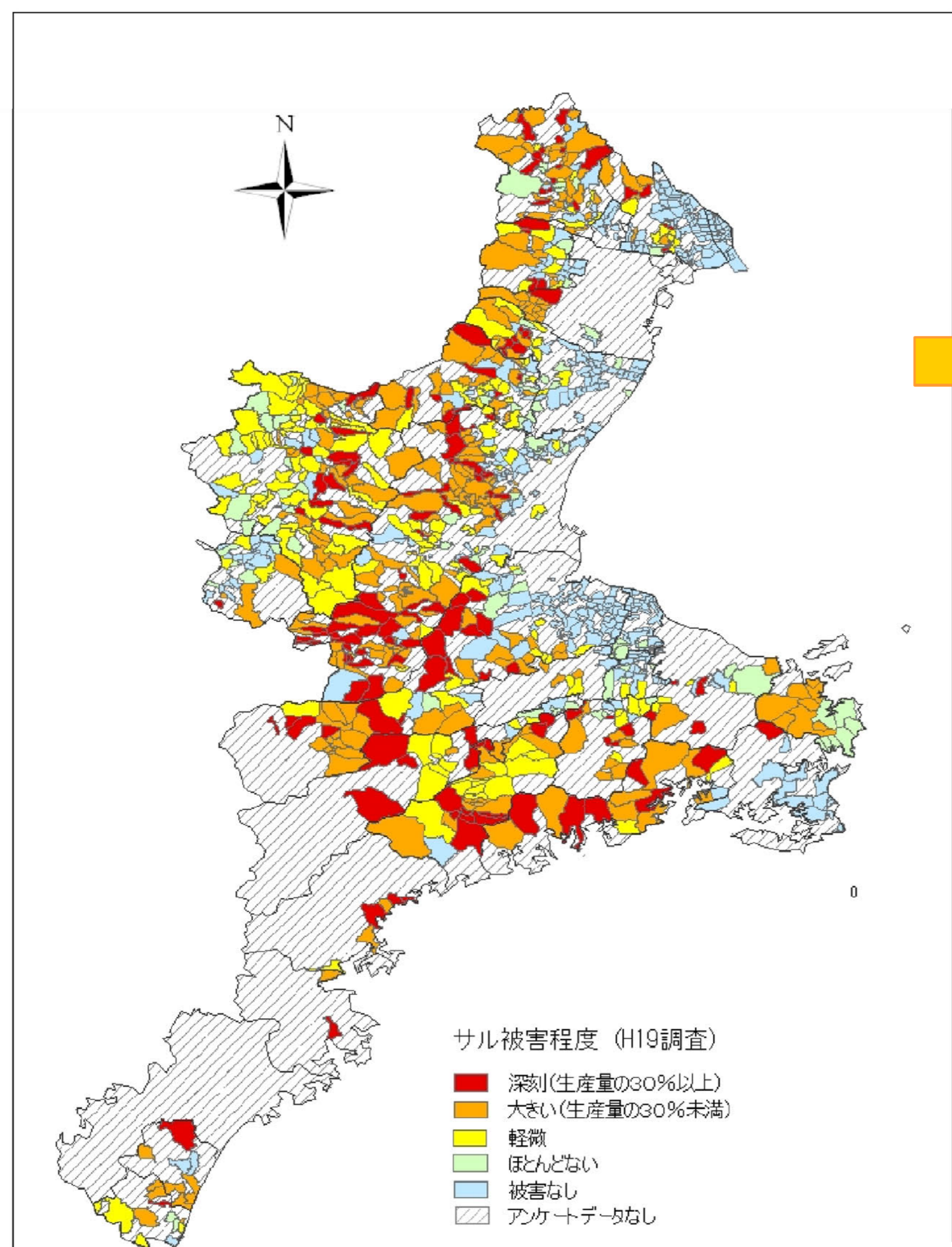


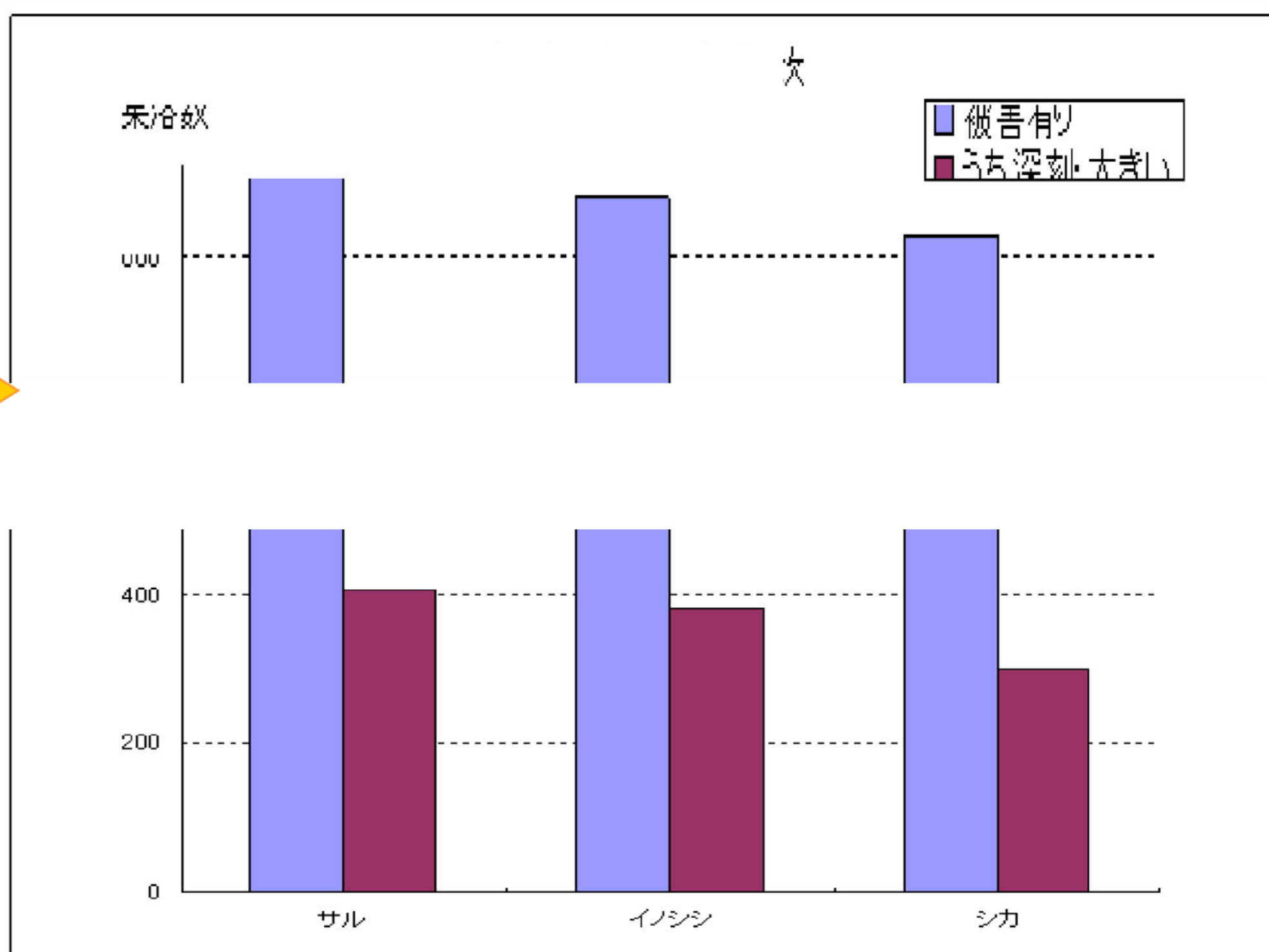
獣害対策研究

三重県内の被害と対策の状況調査

県内の獣害の実態を的確に把握し、効果的な被害対策を講じるための基礎的な資料として、集落毎の被害程度や被害の動向、被害対策の実施状況やその効果を調査・分析しました。

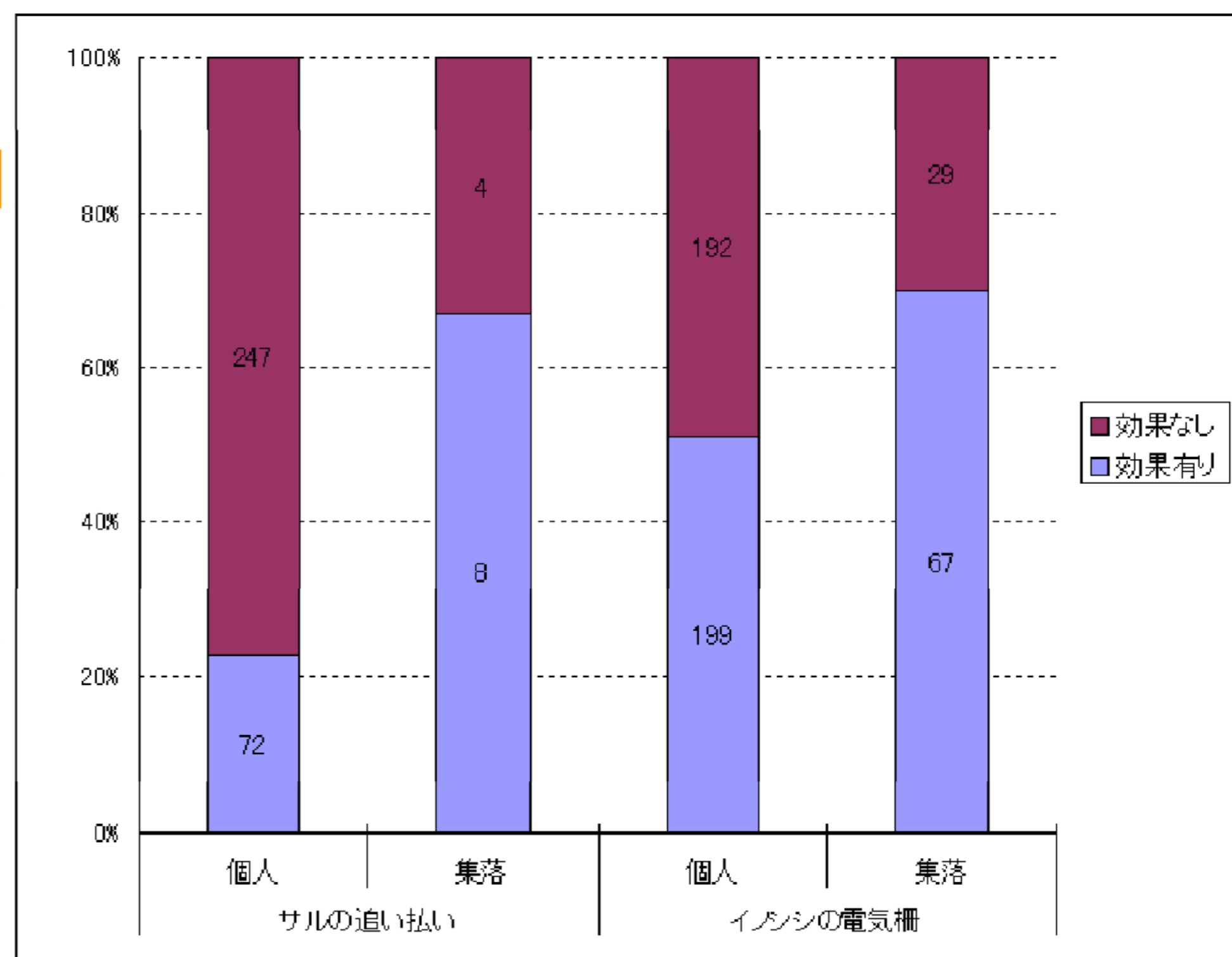


結果の1例 サルによる被害地図



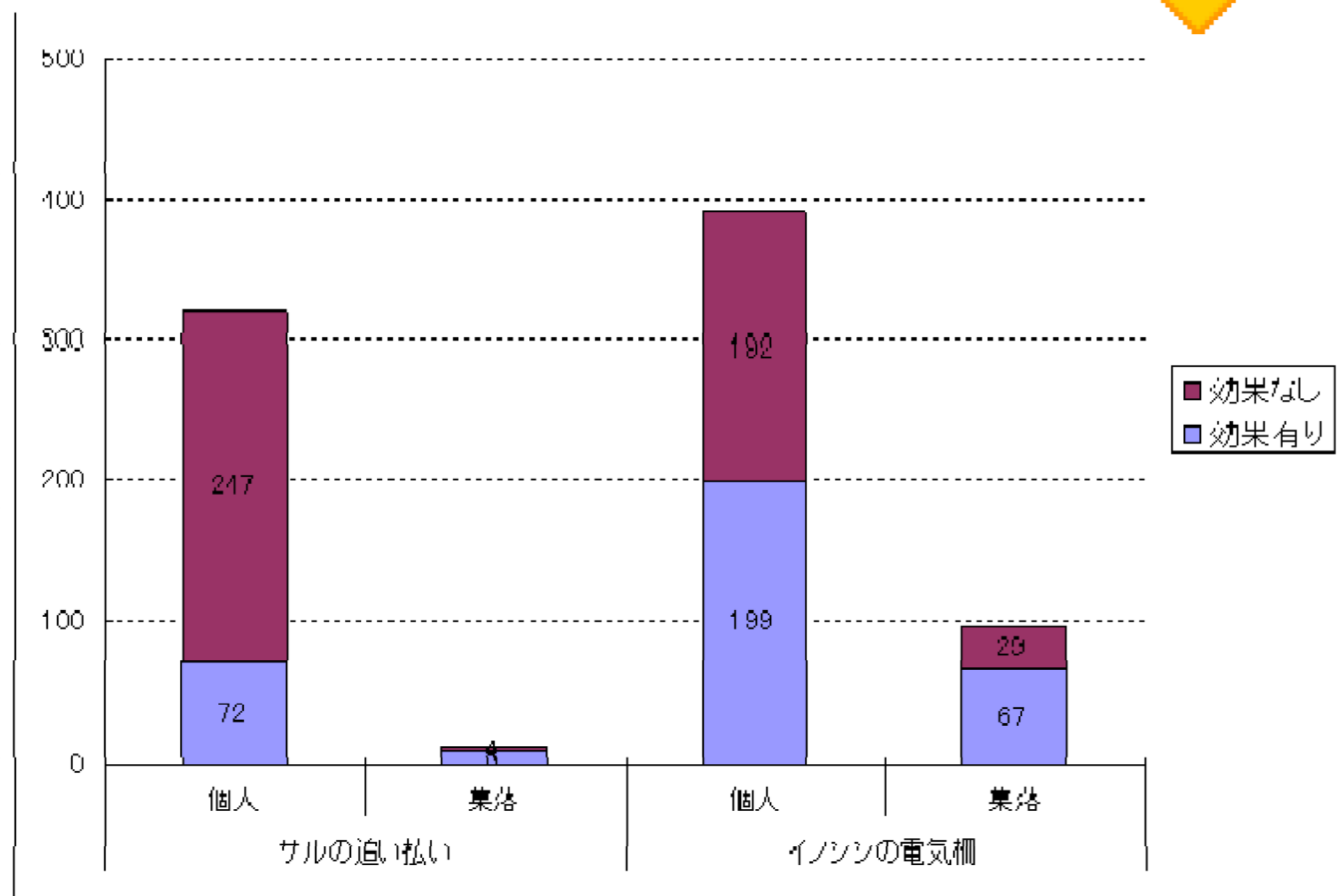
被害発生集落数

約700集落で獣害が発生し、そのうちの約400集落がその被害を「深刻」ととらえています。



被害対策とその効果

サルの追い払いもイノシシの電気柵も、集落で実施している地区では効果が高いことがわかります



個人・集落別の取組実態

集落で取り組んだ被害対策は、効果が高いと評価しながらも、被害対策を集落で実施できている集落は少ないことがわかります。

三重県の全集落のうち、実に1/3の700集落にも獣害が広がっており、その被害を軽減するには、集落全体で被害対策に取り組むことが効果的であることが示されました。集落全体で被害対策に取り組める「獣害につよい集落」が県全体に広がるには、地域のモデルとなる集落の育成が必要と考えられます。